

**兵庫支部NEWS H24年 3月号**

北九州市立大学同窓会兵庫支部 編集発行人 名越英昭(Tel.078-792-6130)

ホームページ http://www.hi-net.zaq.ne.jp/kono メール hn75kb@ybb.nc.jp

購読料 12回、1,500円(送料込)

購読のお申し込みは郵便振替

振替口座:00980-2-245822

口座名:北九州市立大学同窓会兵庫支部

**兵庫支部総会は7月7日(土)
女性の会「スマレ会」は4月22日(日)****将棋クラブは3月例会から発足**

2月26日(日)午後1時半から、兵庫勤労市民センター第一会議室で兵庫支部役員会が開催された。

役員総数20名のうち、出席役員9名、委任状提出者7名で役員会は成立と宣言され議事に入った。

当日の出席者は、安徳信義支部長(44商)永翁正臣副支部長(41商)松山仁副支部長兼会計(44商)山田敏昭幹事長(44商)藤田博保幹事(35商)二宮慶治郎幹事(38米英)西村洋子幹事(41米英)浜田勝義幹事(44米英)河野旺生会計監査(36商)および名越英昭相談役(37米英)の10名だった。



(藤田、河野、永翁、二宮、安徳、山田、西村、松山、浜田)先ず安徳支部長が、「若手役員の出席が無く寂しい暫くは高齢者が引っぱりに行く必要がある」と挨拶。続いて山田幹事長が議長となり議事が進められた。

1. 「スマレ会」第1回総会開催について

西村幹事から開催要領が発表され、別掲の通り詳細が決められ、全女性会員に対し往復はがきで案内状を発送する事になった。

2. 平成24年度(第26回)支部総会開催について

例年通り7月第1土曜日開催と決まった。決定事項は下記の通り:

開催日時:7月7日(土)11時~15時

開催場所:パレス神戸 Tel.078-371-7800

神戸市中央区下山手通5-1-16

会費:男性7,000円、女性5,000円

H23年、H24年卒は無料

なお、本年度も「支部運営協力金」をお願いする。

3. 今後の同好会活動予定について

*三金ゴルフ:3月31日(土)富士OGMゴルフクラブ

小野コースにて開催予定

*歩こう会:3月18日(日)「平清盛」放送記念ウォーク

4月8日(日)観桜会、加西方面予定

5月未定、6月パーベキュー

*囲碁の会:4月14日(土)~15日交流会を宝塚で

*将棋クラブ:3月例会から発足。毎月第3金曜日

午後2時から囲碁の会と同じ会場で、

本館牡丹園3Fで開催する。

4. その他

*病気の為辞任の福永憲彦氏(44経営)の退任了承

*海外赴任の為辞任の牛丸敬孝氏(51中国)は身分保留のまま復帰を待つ事にする。

*欠席が続いている澤田英憲氏(44経営)は退任扱い

**女性の会「スマレ会」開催ご案内
4月22日(日)11時半****於レストラン モード和食WADA、ミント神戸8F**

兵庫支部女性会員の会「スマレ会」創立総会が開催されます。関西支部の「コスモス会」福岡支部の「あざみ会」など各地の支部で「女性の会」が開催されており、西村洋子(41米英)福原照世(44中国)榎崎栄子(50中国)の3氏の御尽力で、兵庫支部の女性の会「スマレ会」の創立総会が開催される事が2/26の役員会で正式に決まった。

3月中に兵庫県内在住の女性同窓生181名に対し案内状が発送される予定で、詳細は下記の通り。

記

兵庫支部女性の会「スマレ会」創立総会

開催日時:4月22日(日)11:30~14:00

開催場所:レストラン モード和食WADA

ミント神戸8F

三宮駅海側

東へ徒歩1分

会費:2000円

同窓会助成金を利用し

3500円のランチを

用意

申込締切日:4月2日(月)

申込先:西村洋子 電話 080-1520-0925

**将棋クラブも正式に発足
囲碁の会と一緒に本館牡丹園3Fで
将棋愛好者遊びにお出で下さい**

2/26役員会で発足が認められた「将棋クラブ」は

毎月第3金曜日午後2時から

「三金会」会場であり「囲碁

の会」会場である「本館牡丹

園」3Fで開催されます。

会費なし、但し飲物は実費

負担。中華料理店のテーブルに持ち込んだ将棋盤と駒を

並べて、いわば縁台将棋のスタイル。将棋の好きな人

気軽にお集まり下さい。

**「三金会」「囲碁・将棋の会」会場ご案内****本館牡丹園**

神戸市中央区元町通1丁目11-20

電話 078-332-4588 FAX 078-392-3020

JR元町駅東口海側下車、南へ(大丸方面へ)徒歩1

「三金会」

毎月第三金曜日 午後6時~

会費:3,500円(男性)

2,000円(女性)

「囲碁の会」「将棋クラブ」

毎月第三金曜日 午後2時~

参加費:無料、ドリンク/500円



「同窓の絆たすき」支部リレー・ウォーク

福岡県内13支部が福岡市から北九大へ

東日本大震災から1年目の2012年3月11日を起点に、福岡県内の13支部が「同窓の絆たすき」支部リレー・ウォークを展開する。日曜日ごとに実施され、北九大北方キャンパスのゴールを目指し、5月6日(日)にはゴールイン予定。

「同窓のたすき」をつないで「絆」を確かめ合おう！というウォーキングで、老いも若きも、既卒会員・新会員、皆さんこそぞって奮ってご参加下さい、

と同窓会本部ではたすきや集合場所やウォークの前後に目印となる手持ち旗、幟、腕章・ハットマイク等を用意して、呼び掛けている。

企画の趣旨及び実施計画要旨は下記の通り。

昨年3月の東日本大震災は未曾有の大惨事を生んだが、人と人の心を結ぶ目に見えない「絆」が、被災者の救援や、被災地の復旧・復興に向け、いかに大きなパワーを発揮するか、を日本の社会全体に教えてくれた。「絆」は、人間が作るいろんな組織の「潤いの源泉」でもある。いま私たちの同窓会にとって「同窓の絆」をさらに強く、太くする好機であると思う。このような気持が膨らむ中で、本部と支部、支部と支部、さらには会員と会員の絆を「たすき」に託し、これを支部から支部へと歩いてつないでいく「同窓の絆たすき」支部リレー・ウォークを企画した。

当初は北海道支部から沖縄支部まで全国48支部を結ぶ長大なリレー・ウォークを構想したが、所要時間も含め運営体制が大掛かりになるため、先ず皮切りに母校・北九州市立大学があり、同窓会会員の約三分の一(約14,000人)を占める福岡県内の13支部をつなぐリレー・ウォークを展開する事にした。

この実施時期については、「絆の大切さ」をあらためて思い起こす意味で東日本大震災の発生(昨年3月11日)から1年の節目がふさわしいと考え、今年3月11日からのスタートにした。肌寒さが残る時節からの「歩き」の開始ではあるが、「同窓の絆」を脚力で確かめ合いながら、「絆たすき」を支部から支部へとリレーしていくとともに、日頃の運動不足解消と健康増進を兼ねた野外レクリエーション気分、本部役員会と支部役員会が協力して可能なかぎり多くの支部会員の参加を呼び掛けたい、

***実施日程とコース(3月11日~5月上旬)**
(実行委員会が案案として提示されたもの)

平成24年3月11日(日)

●福岡支部→福岡県南支部 (17.0キロ/約3時間半)
福岡市役所→大宰府天満宮 *福岡県南支部がリレー

平成24年3月18日(日)

●福岡県南支部→嘉飯山支部 (20.9キロ/約4時間20分)
久留米市役所→朝倉市役所 *嘉飯山支部がリレー

平成24年3月20日(火・祝)

●嘉飯山支部→田川支部/豊前・築上支部(12.1キロ/約2時間半)
飯塚市役所→田川市役所 *田川支部と★豊前・築上支部がリレー

兵庫支部月例会「三金会」2月例会 H24. 02. 17

賑やかに13人が集い、「絆」を深める



店主 二宮 松山 名越 謝 高尾 山本 富山
清水 二宮 松山 大村 名越 安徳 謝 高尾 山本 富山
平間

本紙、兵庫支部NEWS、創刊号(H5年7月)から4号(H8年1月)までを担当した元兵庫支部幹事長の渡辺克彦氏(46米英・所沢市)が松尾祐嗣氏(45経営・枚方市)清水許宏氏(46米英・香芝市)-ともに東筑OB-共々数年ぶりに三金会を訪れ旧交を温めた。「歩こう会」や「三金ゴルフ」に度々ゲスト参加している謝美華さん、富山幸子さんも加わり、1月に続いて二ケタ人数の集まりとなり賑やかな「三金会」となった。
本館牡丹園店主の趙国良・明亮夫妻に長女趙佳慧さんが2月2日に誕生とのニュースももたらされた。
3月も二ケタ人数を期待したい。

***実施日程とコース(つづき)**

平成24年4月1日(日)

●田川支部→直鞍支部 (15.3キロ/約3時間10分)
田川市役所→直方市役所 *直鞍支部がリレー

★豊前・築上支部→行橋・京都支部(20.7キロ/約4時間15分)
豊前市役所→行橋市役所 ★行橋・京都支部がリレー

平成24年4月8日(日)

●直鞍支部→中間・遠賀支部 (9.0キロ/約1時間50分)
直方市役所→中間市役所 *中間・遠賀支部がリレー

★行橋・京都支部→門司支部 (26.4キロ/約5時間25分)
行橋市役所→門司区エリア ★門司支部がリレー

平成24年4月15日(日)

●中間・遠賀支部→八幡支部 (7.6キロ/約1時間35分)
中間市役所→八幡西区役所 *八幡支部がリレー

★門司支部→小倉支部 (12.1キロ/約2時間半)
門司区役所→小倉北区役所 ;小倉支部がリレー

平成24年4月22日(日)

●八幡支部→若松支部 (18.6キロ/3時間50分)
八幡西区役所→ひびきの→若松区役所 *若松支部がリレー

平成24年4月29日(日・祝)

●若松支部・戸畑支部(合同)→小倉支部(19.9キロ/約4時間10分)
若松区役所→戸畑区役所→小倉北区役所 *小倉支部がリレー

平成24年5月6日(日)

●小倉支部→同窓会本部 (7.8キロ/約1時間40分)
北九州市役所→同窓会本部 . . . <ゴール>

投稿大歓迎

皆様のご投稿を待っています
旅行記、随筆、自分史、短歌、俳句、川柳など
あるいは本紙に対する御意見・御感想、何でもOK

広告大歓迎

掲載料:1/10頁、1回500円
お申し込みは6回分3,000円で御願います

雑感

外国人も推奨する日本食

浜田勝義(44米英)

最近読んだ本に首題に関して興味ある記述があったのでご紹介する。

アメリカ人女性ケイ・ヘザリ(NHKラジオ英会話元レギュラー・ゲスト)はAmerican Pie(NHK出版)のP39で次のように述べている。

I was talking to an American woman the other day. "I could never move back to the States," she said, "because I can't live without Japanese food." Actually I've had the same thought myself Japanese food makes me feel good because it's both delicious and healthy, the perfect balance.

(私は先日一人のアメリカ人女性と話をしていた。「私はアメリカに帰る事が出来ないかもしれないわ」と彼女は言った。「私は日本の食べ物が無いと生きていけないので」実は、私自身ずっと彼女と同じ考えを持っている。日本の食べ物は私を良く感じさせてくれる。なぜならそれは美味しくても健康に良く、完全にバランスがとれているので。)

さらに彼女はP42で次のように述べている。

Obviously "good" food has to be perceived as both delicious and healthy. In that way, for me Japanese food is best. ... If "you are what you eat," which would you rather be: a fat, greasy hamburger or a dish of light, cool tofu?

(明らかに、「良い」食べ物は、美味しくても健康に良いと認識されなくてはならない。その点で、私にとっては日本の食べ物が一番良い。・・「美味しい」アメリカの食べ物は、健康に良くない脂肪とカロリーでいっぱいであることがあまりにも多くある。もし「あなたが食べるものそのものになる」とすればあなたはどちらになりたいですか、：太った脂っこいハンバーグですか、それともひと皿の軽くて冷たい豆腐ですか。)

またイギリス人ブライアン・ポール(随筆家)はMy Humorous Japann(NHK出版)P70で次のように述べている。

But did you know that many young Americans are also enjoying a Japanese lifestyle too? That's right. Yuppies (Young Urban Professionals) who are rich, young and intelligent people eat lots of tofu and sushi. They say it's much more healthy and delicious than their fastfoods such as hamburgers, hot dogs and fried chicken.

(でもあなたは知っていましたか。多くの若いアメリカ人も日本の生活様式を楽しんでいるという事を。それは本当なのだ。金持ちで若くてそして知的な人々であるヤッピー[専門職を持った都会の青年達]はたくさん豆腐や寿司を食べる。彼等は言う。それはハンバーグ、ホットドッグそしてとりのフライのようなアメリカのファーストフードよりもずっと健康に良くても美味しいと。)

二人の記述から、豆腐や寿司などの日本の食べ物が健康に良いことから外国に広まっている事が判る。→

冬の金剛山登山(つづき)

1時半ごろから下山を始めた。葛木神社を参拝して下山ルートを下り始めた。下りは当然坂道で、しかも階段状ではなかったの、アイゼンは着けたままだ。



(葛木神社前でアイゼンを付けて記念撮影)

途中念仏坂というところでは急勾配になっていて、しかも日陰は圧雪で滑り易かった。我々高齢者はもちろんのこと、若い人も転んでいた。急勾配のところでは左側の手すりを持ってそろそろと歩いた。途中でアイゼンを外した。そして橋の上に差し掛かった時に、「凍結しているぞ。気をつけて!」と注意されたにも関わらず、私は圧雪を踏んで見事に尻もちをついた。とにかく、雪の無い土の部分の踏まなければ安心できなかった。途中広場でトイレ休憩等をとって、約2時間半は歩いたろうか、やっとバス停のところまで着いた。そこの溪流でアイゼンの土を洗い落とした。

河内長野駅から又南海電車で難波駅まで帰ったが、安徳さん、名越さん、二宮さん、平間さん、謝さんの5人は鶴橋で焼肉を食べて帰ると新今宮で下車した。夕方6時前には帰宅し、すぐ風呂に入り疲れを癒したが数日経って左手首が痛くなったが楽しい一日でした。

The Alumni Association Hyogo Branch
of The University of Kitakyushu



Alumni are most welcome to



SHANTI

Shanti means Peace

INDIAN RESTAURANT SHANTI

JR-ASHIYA 5FL 0797-35-4807

Please access www.ethnic.co.jp

私の知り合いの医者も私に日本の伝統的な食事を奨める。それは日本の伝統的な食事が低脂肪であるためであろう。第二次世界大戦後日本人の食事は欧米化し、その結果、肥満や高血圧になる日本人が増え、がんや脳卒中、糖尿病などの生活習慣病にかかる日本人が増えた。

自分の健康は自分で守るという観点から、禁煙、バランスのとれた食事、節酒、適度な運動、そして定期検診を心掛けたい。

第126回「歩こう会」2月例会

冬の金剛山登山

山田紘昭(44商)記

満員の登山バス

南海難波駅8時02分発の急行に乗った7人は、8時30分頃に河内長野駅に降り立った。ここから登山口までバスで行くのだが既にバス停には長い行列が出来ていた。老若男女、高齢者から幼児までわいわい話しながらバスを待っていた。

臨時便が出ているにもかかわらず、バスは満員すし詰め状態のまま出発した。途中の道路や原っぱに雪はなく、「いつもならこの辺から雪が積もっているのに」「今日は雪がない、温かいわ」と話しながら目的地に向かった。約30分走って目的地に着いた。

本日の参加者は、二宮会長、藤田顧問、名越、平間、安徳、山田の6人の会員と会友の謝さん、合計7人のパーティであった。

標高525mの登山口

バスを降りるとそこは金剛山登山口である。売店やトイレがあり登山者は、そこで用を済ませて、アスファルトの道を歩き始めた。安徳さんは、私がトイレから出てくると既に姿が見えなかった。さっさと一人で登ったり歩いたりするのはいつものことだ。私は藤田顧問と一緒にゆっくりと歩き始めた。溪流沿いは、堰の工事をしていたり、木の階段の付け替えをしていた。



(4合目付近の階段状の坂道)

ボランティアの人たちの仕事だろう。登り始めの坂道もきついと思ったが、階段状の山道も急であり、かなりきつかった。しばらく歩くと汗をかいてきた。藤田顧問は汗を吸う日本タオルを首に巻いていた。謝さんも上着を取り

私も厚手のダウンを脱いでタオルを首に巻いた。毛糸の帽子は汗でぬれたが、脱いでは拭き、又被った。暫くは藤田顧問と謝さんの3人でおしゃべりをしながら登った。5～6合目頃になるとかなり苦しくなっていて、時々小休止を取って登ったが、まだ圧雪は少なかった。小休止の時、藤田顧問より「かがんで下を向いて歩くから苦しくなる。胸を開いて、前を向いて歩けば息がしやすい」とアドバイスを受けた。

アイゼンを装着し山頂へ

8合目を過ぎると圧雪が多くなり滑るようになったので、アイゼンを付けた。新品のアイゼンを初めて着けた。やはり歩き易い。「う～んこれは便利」と思った。足取り軽く又3人で歩き始めた。狭い山道のと



(圧雪がある8合目付近)

ころどころでは、ボーイスカウトの集団や親子連れの人で混雑した。又少し広い所で坂道になっているところでは、子供がスノーボードで滑っているのが余計に進度が停滞する。ここからは、山頂は近かった。

登山口を出発したのが9時40分頃で、山頂の広場へ着いたのが11時頃だった。約1時間10分位の行程であったらどうか、たいした距離ではないが階段になっている登山道は結構きつかった。広場のベンチでは、安徳さんがビール、酒を飲んでいて、既においしい気分になっていた。藤田顧問はすぐに下着を着替えていた。そして我々3人も加わって早速ビールや紹興酒をいただいた。謝さん持参の豚のみみ、レバー等をあてに気持ち良く飲んだ。私は手作り弁当もすぐに食べた。大温度計の表示は-3℃であつた。少しして、又見る



(山上広場で宴会)

と-2℃になっていた。そのうち二宮会長、名越さん、平間さんが到着した。そして宴会が始まった。

流しの歌手が現れる?

豊嶋夫妻と豊嶋さんと同期の都築さんが加わり更にぎやかになった。ビール、燗酒、紹興酒を飲んだ。熱々のカップ麺はおいしかったし、最後にコーヒーもうまかった。私を除く6人は豊嶋さんとは1年ぶりの再会のような感じだ。都築さんは東京昭島市からわざわざ来られたそうだが、普段から山登りをしているとのことだ。金剛山は2回目とのこと。山上広場の入口付近には金剛山登拝者100回以上の名前がずらりと並んだ大きなボードが立てられていた。又広場には、更に巨大なボードには1000回以上の登拝者の名前がずらり



[高校3年生を皆で]

中には1万回以上の人もいた。富田林在住の豊嶋さんも1000回以上のところに名前を連ねておられた。宴会の途中突然、通称“高校3年生”と言う人が現れて、歌を披露し始めた。懐かしい歌謡曲や童謡をを唄って

くれた。そして高校3年生は皆で一緒に唄って大いに盛り上がった。



(二宮、名越、安徳、藤田、都築、謝、豊嶋夫妻、山田、平間)

残念! 樹氷が見られず、下山へ

約2時間食事を楽しんだ。時折粉雪は舞い散っていたが、今日は天気が良かった為、残念ながら期待した樹氷を見る事は出来なかった。

(前頁に続く)